

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、放射線腫瘍科では、Forum for Nuclear Cooperation in Asia (FNCA) 放射線治療プロジェクトと共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] アジア地域における非小細胞肺癌に対する緩和的全脳照射による生存率向上についての予後予測モデル開発のための国際共同研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 若月優
本研究に関する問い合わせ先：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 若月 優
電話：043-206-3360（平日；9:00 ～ 17:00）

[利用・提供の対象となる方]

2021年1月から2021年12月に全脳照射治療が行われた脳転移を有する非小細胞肺癌患者の方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：患者さん背景情報（性別・年齢・採血結果など） 肺癌に関する病気の情報、治療情報

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究：無）

非小細胞肺癌に対する緩和的全脳照射を検証してその有効性を確認するとともに、各国に合わせた新たな予後予測モデルを開発することを目的とした共同研究実施

[日本国内の共同研究機関及び研究責任者]

1. 埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 加藤 眞吾
2. 群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 大野 達也
3. 順天堂大学 放射線治療学講座 小此木 範之
4. 筑波大学附属病院 放射線腫瘍学 牧島 弘和
5. 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 若月 優

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より2029年3月31日までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 放射線腫瘍科 助教 河野佐和
研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 放射線腫瘍科 河野佐和
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 岩本絹子